

阪神・淡路大震災時の経験

資料1

今回の震災後のマーケット状況

○株価

日経平均 11日終値 10,254.43円(前日比▲179.95)

シカゴ日経先物 11日終値 9,975円(前日比▲300)

○為替

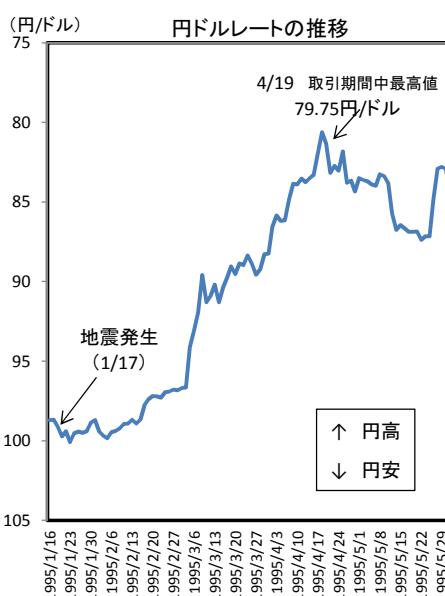
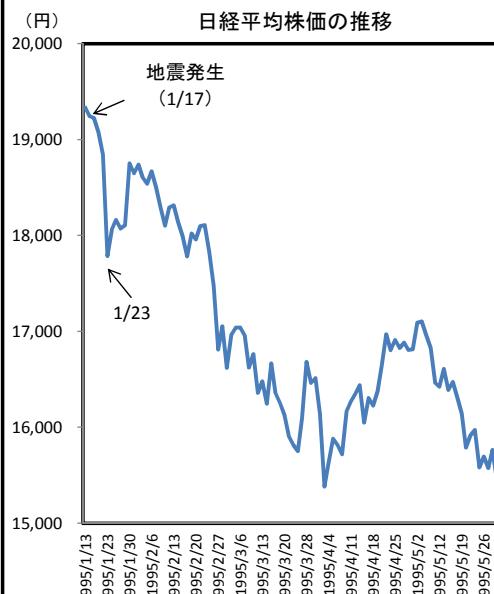
東京市場 11日終値 82.33円/ドル(前日比▲0.61円高)

NY市場 11日17:00 81.86円/ドル

阪神・淡路大震災後のマーケットの動き

○日経平均 震災当日には90円の下げ。23日に1,054円の暴落
その後、短期間の反騰⇒持続的な下落基調

○為替レート 緩やかな円高。3月頃から急速な円高へ



阪神・淡路大震災の実体経済への影響

○大都市・物流の拠点に大きな被害

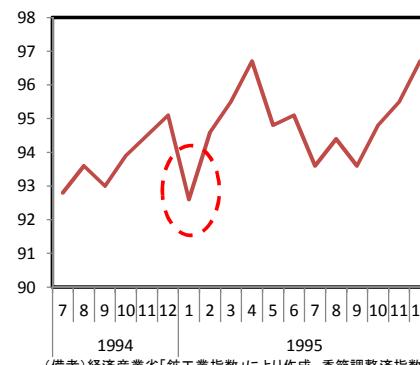
○ストックの被害額 約9.6兆円(全国ストックの約0.8%、名目GDPの約2%)

○短期 被災地域を中心とした生産・支出の減少

○中長期 ストック再建のための生産・支出の増加(復興需要)

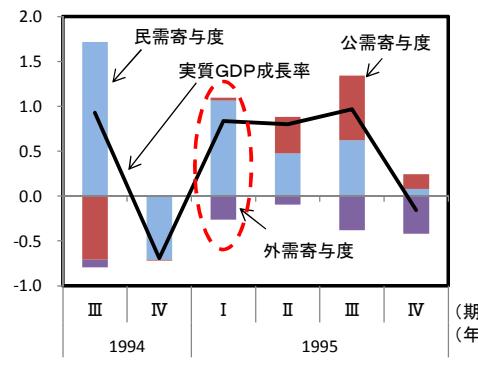
当時は93年10月を谷とする景気拡張局面にあった。急激な円高等を背景とした踊り場を経たものの、結果として97年5月まで拡張局面

(2005年=100) 鉱工業生産の推移



(備考)経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整済指数。

(前期比、%) 実質GDP成長率の推移



(備考)内閣府「国民経済計算」により作成。

今回の特徴

○一次産業の比重が相対的に高い地域

○津波被害を含め被災地域が広範囲

○ただし、東北、北関東地域には製造業の生産施設も多い

企業の操業状況の例

自動車	トヨタ自動車 日産自動車	14日に国内全工場の操業停止 いわき工場、栃木工場など東北と関東の5工場の14日の操業停止
電気機器	キヤノン ソニー	福島市のプリンター工場が操業停止(12日現在) 東北地方(宮城県4、福島県2)の生産拠点の操業停止(12日現在)
電子部品 デバイス	エルピーダ・メモリ ルネサスエレクトロニクス 富士通セミコンダクター	秋田市の工場の操業停止(12日現在) 東北、北関東の半導体工場で生産停止(12日現在) 岩手工場等5か所が操業停止(12日現在)
食品	キリンビール、 サンボロビール	東北、北関東の工場で操業停止(12日現在)

(備考)各種報道資料より作成。